

密室の 人形

(プロトタイプ)

中野
劇団

密室の人形 (プロトタイプ)

作・中野 守 (中野劇団)

登場人物

主人公

世話人 (パメラ・オールブライト)

幼女 (マリアンヌ)

通訳 (ヴァネッサ)

千里眼 (ディートリッヒ)

少年 (リク)

TK (テレキネシス)

謎の女

床に倒れている主人公。
意識が戻ってくる。

主人公 んん……。

部屋には沢山の人形がそれぞれフィギュアのようにポーズをとって静止している。

主人公 !

驚き呆然とする主人公。

主人公 え……？ 何これ。

* ……。

主人公 あの？ すいません。すいません。

* ……。

主人公 あの……誰……ですか？

*

……。

主人公 ええ？ 何これえ……。ここ何処……？

主人公、部屋にただひとつある扉の前に立つ。
ノブを回すが鍵がかかっている開かない。

主人公 すいませーん！

扉を叩く。

主人公 ええ……？

主人公は人形を見て回る。

幼女の目が主人公を追う。

主人公、幼女の目が動いているのに気づいて思わず声が出る。

幼女、動き出す。

主人公 あno……。

幼女 ？

主人公 これ、何ですか？

幼女 んん？

主人公 ……ここって何なんですか？ 目が覚めたら急にここにいて。

幼女 ？

主人公 何の部屋？

幼女 ええ？

主人公 あno！

世話人 （突然肩を掴み）無駄ですよ。

主人公 うわ！

突然世話人が喋り出したので驚く主人公。

世話人 マリアンヌに話しかけてもまともな答えは期待できやしませんよ。

主人公 ……マリアンヌ？

世話人 ええ。そして私の名前はパメラ。オルブライトでございます。ミ

スオルブライトとお呼び下さい。

主人公 あなたは何？ この人達は？ ここって何？ 今何が起こってるの？

世話人 そんなに一度に質問されても答えられやしませんよ。

主人公 ……ここは何処？

世話人 部屋です。

主人公 僕、どうしてここにいるのかわからないんです。目が覚めたらここにいて。僕今、どういう状況なんですか？

世話人 私に話しかけています。

主人公 外に出たいんですけど。

世話人 よいと思います。

主人公 そのドア、鍵かかって開かないんです。

世話人 じゃあ無理ですね。

主人公 無理じゃ困るんです。大事な会議があって今すぐ行かなきゃいけないんです。

世話人 顔色が悪い。少し休んだ方がいいんじゃないですか？

主人公 そんなこと言ったられないんだ。ここから出る方法、何かないですか。どうやったら開くんですか？

世話人 さあ……。

主人公 ……あの……。

世話人 ……そういうことでしたら、リク様にお知恵を借りるのがよろしいかと。

主人公 リク様？

世話人、リクを指す。

世話人 リク様は我々の中で最も聡明な方でございます。

主人公 聡明……、頭がいいってこと？

主人公、世話人がリクと呼ぶ少年を揺する。

主人公 (少年に) あの、すいません。あの。

世話人 無駄ですわ。

主人公 え？

世話人 動くわけがないじゃないですか。電池が入ってないのに。

主人公 電池？ ……この人達、何なんですか？

世話人 ここにいるのは全員人形です。

主人公 人形？

世話人 人形は電池で動きます。リク様を起こしたければリク様に電池を入れなければなりません。

主人公 ……。電池……。って何処に？ ……ああ、動いてる人に電池が入っ

ててそれを外して入れるってこと？

世話人 ええ。

主人公　じゃあ外します。

世話人　私の電池は抜かないほうがいいですよ。マリアンヌは起こしていてもあの通り何も話さないのです。お役に立つこともないかと。

主人公、幼女の背後へ。

幼女　嫌……。

幼女、電池を抜かれる。電池を抜かれて活動停止する所を目の当たりにする主人公。

主人公　……ホントに人形なんだ……。

その電池を少年へ。少年、目覚めるが眠そう。

世話人　リク様御機嫌うるわしう。

主人公　リク……さん？

少年 ……僕はリクなんて名前じゃない。僕の名はランスロットだ。勝

手に名前をつけないでくれ、パメラ。

世話人 申し訳ございません。

少年 パメラって自分がここの人形の管理人だと思い込んでるんだよね。

それで勝手に名前をつけるんだ。

主人公 いきなりで悪いんだけど、部屋を出る方法を知ってたら教えてほ

しいんです。時間がなくて。

少年 急いでいるなら尚のこと丁寧の説明すべきなのに……。この部屋

からはその扉からしか出られないよ。壁は頑丈で、この部屋に

あるものをどう使おうが、ぶち破ったりすることはできない。そ

して扉には鍵がかかっている。鍵を開ける以外に外に出る方法は

ない。

主人公 鍵は、何処に？

少年 扉を開けるのに必要な鍵は、部屋の外にある。

主人公 意味ないだろ。扉を開けないと外に出られないのに、鍵が外にあ

るんじゃ、外に出る方法はないってことじゃないか。

少年 だから外へ出ずに外の鍵を手に入れたらいいんだよ。

主人公 だからどうやって？

少年 たえばその念力使いは手を触れずに物を動かせるんだ。

主人公 念力使い？

少年、TKを指す。

少年 部屋の外にあるものを中へ運ぶことができるかもしれない。

主人公 鍵も？

少年 でも君には無理かもな。そうそう、余計な奴を起こすなよ。特にグールは。

主人公 【グール】？

少年 グールは僕らがどうなろうと平気な奴だからな。グールが目覚ましたら僕らは消滅させられるかもしれない。

主人公 消滅？【グール】っていうのはこの中にいるんですか？ 誰が【グー

ル】なんです？

少年 さあ。

主人公 知らないの？

混沌によって幽閉。だから誰がグールかもわからない。

少年、電池を外してないのに動かなくなった。

主人公 ランスロット？

世話人 リク様は燃費が悪く、僅かな時間しか真価を発揮されないので。

一度他の人に電池を移せば、その間にすぐまた充電しますから。

主人公 グールってどの人ですか？

世話人 さあ。誰もグールがどの人形かわからないのです。

主人公 知らないのに危険だとわかるんですか？

主人公、少年から電池を抜いて、TKに入れる。

TK ごぶさたしています。

主人公 はじめまして。……あの、あなたが手を触れずに物を動かすことができるって聞いて。

TK 私が？

主人公 はい。

TK 物を動かすことができる……。

主人公 できるんですよね？

TK はい。

主人公 その扉の鍵が外にあるんで動かしてほしいんです。

TK 鍵を。

主人公 はい。

TK 何の鍵ですか？

主人公 扉の鍵です。

TK 何処の扉の鍵ですか？

主人公 だからその扉の。

TK 扉の鍵ですね。

主人公 そうです。

TK 鍵をどうするのですか？

主人公 だから鍵を取ってほしいんです。

TK 承知しました。では、その鍵は何処にありますか？

主人公 だから外にあります。

TK 外の何処。

主人公 外の何処？ それはわからないんだけど。

TK 何処にあるかがわからないなら無理です。何処にあるのかわから

ないものこのこへ運び込むことはできません。

主人公 ええ？ あ、じゃあ……。

主人公、TKの電池を外そうと思ったが、TKが勝手に歩きまわってなかなかはずせない。ようやく回りこんで外し、少年に入れる。

少年 ？

主人公 彼女、どこにあるのかわからないものは動かせないって。

少年 だから言っただろ。君には無理だって。

主人公 何処にあるかなんて……。

少年 千里眼なら部屋の外の世界を見ることができる。

主人公 千里眼？ というのは？

少年 千里眼。その……。

少年、千里眼を指す。

主人公 じゃあ、千里眼って人を起こせばいいのか。

少年 まあ君には無理だけどね。じゃあ後はよろしく。

主人公 ？

世話人 ……取り敢えず千里眼を起こしますか。

主人公 千里眼って、彼……？

世話人 ええ。

少年から電池を抜いて、千里眼を起こす。
千里眼、物凄く怯えている。異国の言葉を話す千里眼。何を言ってるか主人公には理解できない。

主人公 ……何言ってるか全然わからないんですけど。

世話人 はい、私も。

主人公、千里眼のパニックのため電池が抜けない。

主人公 ミスオルブライト電池を抜くよ。

世話人 またすぐ起こしてくださいよ。

主人公、世話人の電池を抜き、少年へ。

少年 ……？

主人公 すいません！ 千里眼が何を言ってるのか全く理解できないんです。

少年 ああ千里眼の言葉はQBBにしかわからないからな。

主人公 （ボン） だったら先に言ってくれたらいいのに。QBBって？

少年、通訳を指す。

主人公 千里眼から電池がはずせないんですけど。

少年 目の前で両手を挙げて威嚇すれば千里眼は怯えてしゃがみ込むから、そうしたら簡単に取れるさ。

主人公、千里眼を起こそうとする。

少年 そうそう。ボクが起きてる時にその女（通訳）を起こすなよ。

主人公 ダメなの？

少年 ダメに決まってるだろ。君がボクから知恵を借りたと知ったら、

途端に協力しなくなるだろうね。

主人公　じゃあどうすれば。

少年　そうだな。QBBが千里眼の言葉を理解できることを僕から聞いたとは言うな。パメラから聞いたことにすればいい。

主人公、少年の電池を抜いて通訳に。

主人公　あの……。

通訳　おはよう私の名前はヴァネッサ。

主人公　ヴァネッサ？　ヴァネッサさんに頼みがあつて。……あ、私、目が覚めたら突然この部屋にいて。どうやってこの部屋に来たかもわからなくて。……千里眼さんに聞きたいことがあるんですけど、Q、ヴァネッサさんって、千里眼さんの言葉が何言ってるかわかるってミスオルブライトさんが。

通訳　千里眼？

主人公　彼……。

通訳 ああ、ディートリッヒ。

主人公 ディートリッヒ？

通訳 ディートリッヒの言葉ならわかるわ。

千里眼、怯えながら何やら訴えている。

通訳 ……彼は、怯えているわ。頼みごとを言える状況じゃない。【花を

愛でる人】にヨシヨシされたいと言ってるわ。

主人公 【花を愛でる人】って――

通訳 知らないわ。

主人公 花を愛でる人がいればディートリッヒさんは落ち着くんですね。

通訳 ええ。

主人公 じゃあえっと。

主人公、通訳の電池を抜いて少年へ。

主人公 はあ、……あ、リクさん。

少年 ランスロットだ。

主人公 【花を愛でる人】を探してるんですけど。

少年 【花を愛でる人】？ パメラが言ったならそれは千里眼のことさ。

主人公 千里眼さんが言ってるんです。

少年 千里眼が言ってる【花を愛でる人】はマリアンヌのことさ。

主人公 ややこしいな。……あのでもちよっと待って下さい！ 電池二つ

しかないのにマリアンヌとQBBと千里眼を三人同時には起こせないですよ。

少年 三つじゃなかったっけ？

主人公 二つです。

少年 君は頭が悪いな。その女に質問を考えてもらって、君が覚えて千里眼に聞けばいいだろ。

主人公、両手を挙げて千里眼を威圧。千里眼背中をまるめて屈みこむ。
千里眼の電池を抜いてうっかり通訳へ。

少年 待っ——

通訳 私の名前は——

少年 目覚めてんじゃねえよ！ このクソババア！

通訳 誰がクソババアよこのでべそ！

主人公 あ、しまった。

少年 黙れクソババア！ QBB！ クソババア！

少年と通訳、突然大口論。

通訳 でべそ！

少年 この性悪女！ ヒステリー女！

通訳 でべそ！

少年 うるさい年増！ 勘違い女！ ボロ人形！

主人公、慌てて通訳の電池を抜く。

通訳 ……何でもないわ。

主人公 いやあの……。ヴァネッサさん、【花を愛でる人】はマリアンヌのことです。

通訳 マリアンヌ？

通訳、少年の頬を抓っている。

主人公 彼女。

通訳 ああ……。マリアンヌ。

主人公 マリアンヌはマリアンヌなんだ。

主人公 「その扉の鍵が何処にあるのか教えてほしい」って聞くには？
 zwet nbravadi deau (長々と)。

主人公 すいません覚えられません覚えられません。

通訳 じゃあ「ファトーラ」

主人公 「ファトーラ」……。えっとまず。

主人公、持ってる電池を幼女へ。

通訳 おはようマリアンヌ。あー可愛いわね。

主人公 で、ヴァネッサさんごめんなさい。

通訳の電池を抜いて千里眼へ。

千里眼、一瞬パニックになるが、幼女が起きているのに気づき、感情が穏やかになる。

千里眼 ンペー。ンペー。ンペー。

主人公 ファトーラ？

千里眼 ……。パラミツソ。

主人公 パラミツソ？

千里眼 パラミツソ。ンビヨフェ、カクカラッタ。パラミツソ。

主人公、通訳を起こすために少女の電池を外す。千里眼またパニック。主人公慌てて、少女に電池を戻す。千里眼穏やか。主人公、千里眼の電池を抜いて通訳へ。

通訳 おはよう私の名前はヴァネッサ。

主人公 ヴァネッサさん。パラミツソ。パラミツソ。

通訳 ……。

主人公 千里眼、ディートリッヒさんがパラミツソって。パラミツソ。ン
 ビヨフェ、カクカラッタ。パラミツソ。

通訳、狂ったように笑う。

主人公 ?

通訳 (急に真顔で) ごめんなさい。訳していいかしら。

主人公 はい。

通訳 「君の足はなんて短いんだ。君の足はなんて短いんだ。鍵なら扉の
 前の壁の鍵かけに四つ掛かっている。一番右側のものが本物。後

のものは毘だから鍵掛けから外してはいけない。君の足はなんて短いなだ」（笑う）……（主人公の足を指して）パラミツソ。

主人公 一番右側……。

通訳 あっはっはっは。

通訳が幼女の肩を掴んで笑っているところを、主人公、幼女から電池を抜く。

通訳 （幼女が静止していることに気づいて）……。

TKへ。

TK ?

主人公 鍵の在り処がわかったんだ。この正面の扉の反対側の壁に棚があつて、そこにかかっているって。

TK ……ありますね。

主人公 ありますか？

TK はい。

主人公 四つ鍵が掛かってて、そのうち一番右側のが本物だから他のをはずさないように。

TK 承知しました。……これですね。

念力で鍵を動かし始める。

TK ……今通風口を通過しています。

離れた場所に鍵が落ちた音がする。

主人公、床に落ちている鍵を発見。

主人公 鍵だ。

主人公、鍵を試す。扉にはまらない。

主人公 あれおかしいな。

TKが謎の女に近づく。

通訳 その女に近づいちゃ駄目よ。

TK 何ですか。

通訳 大人しくしなさい。

TK 大人しく……。

TKを諫める通訳。TK、念力で通訳の動きを封じる。通訳、念力で体がY軸回転する。

通訳 ちよ、やめなさい。ちよ。

TKの目の前に通訳の背中。TK、通訳の電池を外してしまう。

TK 大人しくしました。

主人公、気づく。
その電池を謎の女へ。

主人公　ちよっと何やってるんだよ君。そいつがグールかも知れないだろ。

謎の女　グールは私じゃないわ。

主人公　それを信じろったって。

謎の女　グールはあなたです。

主人公　……え？

謎の女　あなたです。ここが何処かよく考えて。

主人公　わからないよ。目が覚めたらここにいたんだ。

謎の女　ハズレ。

主人公　何が？

謎の女　あなたは今立ってる？　それとも座ってる？

主人公　……立ってるだろ？

謎の女　残念。

主人公 違うのか？ え？ 夢？ これって夢？

謎の女 では、あなたをここに閉じ込めたのは誰？

主人公 誰？

謎の女 ここにいる人形達よ。んだども彼らは鍵ではなく混沌を用いてあ

なたを扉から遠ざける。みんなあなたに協力するフリをして、あ

なたを扉から迂回させ続けていた。

どうして僕を閉じ込めるんだよ？

主人公 あなたが目を覚ませば彼らは消えてしまうからよ。

謎の女 君は何なんだ？

主人公 あなたをバックアップするのが私の役割です。さあ、急いで。

謎の女 鍵が合わないんだよ。

主人公 扉の横の壁をよく見て。何もないように見えるけど、ハッチがあ

るわ。

謎の女 え？ 何処に？

主人公 よくみて！

主人公 ……ホントだ。

謎の女 その鍵で開くはず。

主人公 これ？（試す）……開いた。窪みがある。この窪み。電池だ電池を二つ嵌められるようになってる。

謎の女 その子から電池をはずして。

主人公 え？ うん。

謎の女 早く！

主人公、TKから電池をはずして、まずひとつを窪みに嵌める。

主人公 よし！ もうひとつは……。君の……。

謎の女の電池だと主人公が思ったその時、たまたま主人公の背後にいたようだった謎の女が主人公の電池を抜く。

主人公
!?

主人公、膝から崩れ落ちて、静止する。
主人公から抜いた電池を扉の窪みに嵌める。扉が音を立てて開く。

謎の女 おやすみ……。

謎の女（グール）、部屋を出て行く。

終わり。